



BIOGRAPHIE 略歴

ロール・ダヴィロンは16歳の時、トゥールーズ在住の水彩画家のもとで初めて絵を描く。

その後、哲学の勉強と実生活を続けながら独学で10年間描き続け、様々な技法を学ぶ（パステル画、オイルパステル画、墨絵、コラージュ、油絵、水彩）。また1992年から1995年までパリのアトリエボザールにも足繁く通う。

1995年から2008年にかけては創作活動はほとんど行われぬ。この間、自己の心奥に辿り着くための貴重な期間となる。

2009年、絵を描くことは抑えがたい力となって彼女の人生に復活する。自然主義画家エレン・ルグランの弟子となりミクストメディアを学び、油絵技法の修練を積む。2010年、40歳になった彼女は絵画に専念することを決め、2013年までクレルモン・フェラン市のエコール・スペリオール・ダール(高等美術学校)の夜のアトリエに通う。現在クレルモン・フェラン市在住。



CURRICULUM VITAE 出展歴

2012年

- 5月 中国大連、サロン・ドートンヌ
- 6月 中国海南、サロン・ドートンヌ
- 8月 中国チベット、サロン・ドートンヌ
- 10月 フランス・パリ、サロン・ドートンヌ
- 11月 イスラエル・テルアビブ市、サロン・ドートンヌ

2013年

- 9月 フランス・シャマリエール市『美術と工芸アートフェア』、
フランス・シャマリエール市『アート交差点』共同展覧会
- 10月 フランス・パリ、サロン・ドートンヌ
- 11月 フランス・モントルイユ市、冬季アートフェア

2014年

- 1月-2月 フランス・エソンヌ県メス『アートと素材フェア』
- 4月 フランス・シャマリエール市『テーマの交流展』
- 5月 フランス・クレルモン=フェラン市『散策アート展』
- 8月 東京国立新美術館（作品題名『シークレット』）
- 10月 パリ、サロン・ドートンヌ

2015年

- 8月5日～16日 東京国立新美術館、第16回日本・フランス
現代美術世界展 出品予定（作品題名『中陰』）

